

# 参院選1人区での候補者調整開始

現政権に厳しい審判を下すために

党首  
会談

共産・志位<sup>委員長</sup>と  
立民・泉<sup>代表</sup>が合意



▲党首会談の後に記者会見する志位委員長

日本共産党の志位和夫委員長と立憲民主党の泉健太代表は3月18日、国会内で会談し、「現政権に厳しい審判を下すために、参院選1人区での候補者調整の協議を開始する」ことで合意しました。協議については幹事長・書記局長と両党選対委員長で進めていくことを確認しました。

志位氏は会談後の記者会見で、「1人区の候補者調整に向けたキックオフの合意になった。この合意に基づいて協議を速やかに精力的に始めていきたい」と話し、「参院選での1人区でお互いに協力していく意思が確認されたことは重要な一歩前進だ」と強調しました。

志位氏は、今後の協議に臨む党の立場として、市民連合と野党4党で結んだ20項目の「共通政策」、日本共産党と立憲民主党の政権協力の合意を土台に発展させていきたいと主張。選挙協力のあり方に

ついては、「対等平等・相互尊重」の原則に基づいて行うことが重要だと強調しました。

また志位氏は、岸田文雄首相が自民党の党大会で改憲を加速させる執念を示したことに触れ、「首相は、憲法9条をはじめとする『改憲4項目』の実現をいまこそやる、そのための『力』を得るのが参院選の目的だということをはっきり宣言した。野党として“自民党の『改憲4項目』を許さない”ということも共通の旗印に掲げてたたかえるようになるよう努力したい」と表明しました。

記者会見の動画は→→



## 市民+野党で命・くらしを守る政治を

コロナで亡くなる人が過去最悪になるなど、国民の命を守る責任を果たしていないのが岸田政権です。憲法9条の改悪を止めるため、今こそ野党が力を合わせる時。そのために全力をあげます。



参議院議員(東京選挙区選出)

やまぞえ・たく

山添 拓

日本共産党

東京  
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2022年3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

# 参院選1人区での候補者調整開始

現政権に厳しい審判を下すために

党首  
会談

共産・志位<sup>委員長</sup>と  
立民・泉<sup>代表</sup>が合意



▲党首会談の後に記者会見する志位委員長

日本共産党の志位和夫委員長と立憲民主党の泉健太代表は3月18日、国会内で会談し、「現政権に厳しい審判を下すために、参院選1人区での候補者調整の協議を開始する」ことで合意しました。協議については幹事長・書記局長と両党選対委員長で進めていくことを確認しました。

志位氏は会談後の記者会見で、「1人区の候補者調整に向けたキックオフの合意になった。この合意に基づいて協議を速やかに精力的に始めていきたい」と話し、「参院選での1人区でお互いに協力していく意思が確認されたことは重要な一歩前進だ」と強調しました。

志位氏は、今後の協議に臨む党の立場として、市民連合と野党4党で結んだ20項目の「共通政策」、日本共産党と立憲民主党の政権協力の合意を土台に発展させていきたいと主張。選挙協力のあり方に

ついては、「対等平等・相互尊重」の原則に基づいて行うことが重要だと強調しました。

また志位氏は、岸田文雄首相が自民党の党大会で改憲を加速させる執念を示したことに触れ、「首相は、憲法9条をはじめとする『改憲4項目』の実現をいまこそやる、そのための『力』を得るのが参院選の目的だということをはっきり宣言した。野党として“自民党の『改憲4項目』を許さない”ということも共通の旗印に掲げてたたかえるようになるよう努力したい」と表明しました。

記者会見の動画は→→



## 市民＋野党で命・くらしを守る政治を

コロナで亡くなる人が過去最悪になるなど、国民の命を守る責任を果たしていないのが岸田政権です。憲法9条の改悪を止めるため、今こそ野党が力を合わせる時。そのために全力をあげます。

東京  
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590  
2022年3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党